

## 認知症カフェ(オレンジカフェ)

○わが国の認知症高齢者の数は、2012(平成 24)年で 462 万人と推計されており、2025(平成 37)年には約 700 万人、65 歳以上の高齢者の約 5 人に 1 人に達することが見込まれています。今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気です。

○厚生労働省では、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025(平成 37)年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を策定しました。

○「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を推進していくための取組の一つに「認知症カフェ」(オレンジカフェ)があります。

○認知症カフェ(オレンジカフェ)はこのような場を目指しています。

- ・ 認知症がある人にとって：ちょっとした手助けで自分のしたいことができる**活動の場**。
- ・ 介護中の家族にとって：近所や友人、親類等にも言えない介護者の気持ちを話せる**場、相談の場**。
- ・ 地域ボランティア、専門職にとって：認知症があってもできることもたくさんあることを知る、あるいは家族の悩みを聞くことで具体的に理解でき、地域での支援につながる**体験の場、学びの場**。